

宿泊約款

【適用範囲】

- 第1条 1. 当館が宿泊客との間で締結する宿泊約款およびこれに関連する契約は、この約款の定める所によるものとし、この約款に定めない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとする。
- 第2条 2. 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとする。

【宿泊契約の申込み】

- 第2条 1. 当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日および到着予定時間
 - (3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による。)
 - (4) その他当館が必要と認める事項
2. 宿泊の申込をした者は、当館が宿泊者の氏名、住所、電話番号等を記載した宿泊者名簿の提出を依頼した時は、宿泊契約成立後であっても、あたりに提出するものとする。
3. 当館は、宿泊予定日前の任意の日に、宿泊客からいただいた連絡先に予約の確認の電話を差し上げる事があります。
4. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊日の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

【宿泊契約の成立等】

- 第3条 1. 宿泊契約は、当館が前条の申込を承諾したときに成立するものとする。
- ただし、当館が承諾をしなかったことを証明した時は、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間に該当する当館が定める申込金を、当館が指定する日までにお支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとする。ただし、申込金の支払期間を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合は限ります。

【申込金の支払いを要しないこととする特約】

- 第4条 1. 前項第2項の規定にかかわらず、当館が、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じる事があります。
2. 宿泊契約の申込み承諾に当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

【宿泊契約締結の拒否】

- 第5条 1. 当館は、次に掲げる場合、および第7条の定める各項に該当するおそれがあると判断される場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 宿泊の申込が、この約款によらないとき
 - (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき
 - (4) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき
 - (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負を求められたとき
 - (6) 天災、施設故障、その他やむを得ない事由により、宿泊させることができないとき
 - (7) 北海道旅館業法施行条例10条の規定する場合に該当するとき
 - (8) 宿泊の申込をした者が、自己の商業目的を秘して申込をしたとき
 - (9) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき
 - (イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - (ハ) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの

【宿泊客の契約解除権】

- 第6条 1. 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当館は、宿泊客が、宿泊契約の全部または一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)(以下別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にその特約に応じたに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除した時の違約金支払い義務について、当館が宿泊客に告知した時に限りします。
3. 当館は、宿泊客が連絡を断り、宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

【当館の契約解除権】

- 第7条 1. 当館は、締結された契約内容が第5条1項に該当する場合、または次に掲げる場合において、宿泊契約を解除することがあります。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき、又は同行者を認められるとき
 - (2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき
 - (3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負を求められたとき
 - (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (5) 北海道旅館業法施行条例 10 条の規定する場合に該当するとき。
 - (6) 客室での喫煙たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項に従わないとき
 - (7) 宿泊の申込をした者が、自己の商業目的を秘して申込をしたとき
 - (8) 当館から確認の電話又は電子メールをした際、宿泊申込時にいただいた電話番号や電子メールアドレスが無効である場合、または指定した折り返し期日までにご連絡のない場合
 - (9) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき
 - (イ) 暴力団員、暴力団員、暴力団準構成員または暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - (ハ) 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
2. 当館が第7条の事由に基づいて宿泊契約を解除した時は、いまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金も、解除時における違約料として計算しお支払いいただきます。

【宿泊の登録】

- 第8条 1. 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の氏名・年齢・性別・住所及び職業
 - (2) 外国人にあつては、国籍・旅券番号・入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他当館が必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行うときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

【客室の使用時間】

- 第9条 1. 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。ただし、宿泊申し込みいただいた旅行商品にその規定がある場合はそれに準じます。
2. 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用にに応じることがあります。この場合には、前項規定の定める利用可能時間からの時間超過毎に、1泊室料相当額の20%を追加料金として申し受けず。
3. 前項の室料相当額は、基本宿泊料の70%とします。

【利用時間の遵守】

- 第10条 1. 宿泊客は、当館内においては、当館が定めて館内に提示した利用規約に従っていただきます。

【営業時間】

- 第11条 1. 館内施設などの詳しい営業時間は備え付けのパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等でご案内いたします。
- | | |
|-------------------------------|---|
| (1) レストランオホツク | ランチバイキング 11:30～14:00
ディナーバイキング 18:00～21:00 |
| (2) 日帰り入浴 | 平日(月～金曜)・祝日 14:00～22:00
土曜・日曜 12:00～22:00 |
| (3) スパリゾートメント [ファウラ] | 15:30～23:00 |
| (4) マッサージコーナー [星の音] | 15:30～23:00 |
| (5) オホツクマーケット [北の島] | 8:00～11:00 / 15:00～21:30
(ランチバイキング営業日は7:30～21:30になります) |
| (6) ラーメンコーナー | 21:00～24:00 |
| (7) ラウンジバー [縄文じょうもん] | 20:30～23:30 |
| (8) オホツク人の足湯 | 15:00～24:00 |
| (9) 鶴雅アドベンチャーベースSR[アウトドアショップ] | 8:00～11:00 / 15:00～21:00 |
2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。
- その場合には、ホームページでの告知等、適当な方法をもってお知らせします。

【料金の支払い】

- 第12条 1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金などの内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金などの支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けず。

【当館の責任】

- 第13条 1. 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当館は、万一の火災などに対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

【契約した客室の提供がないときの取扱い】

- 第14条 1. 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当館は、前項の規定に係らず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

【寄託物の取り扱い】

- 第15条 1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品または現金ならびに貴重品について、滅失、毀損等の障害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明示を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は15万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が、当館内にお持ち込みになった物品または現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意または過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館はその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明示のなかったものについては、15万円を限度として当館はその損害を賠償します。
3. 当館は、第1項および第2項に基づく損害賠償責任のあるときであっても、次に定める物品については、その責任を負いません。
- (1) 稿本、設計書、図案、帳簿その他これらに準ずるもの(磁気テープ、磁気ディスク、CD-ROM、光ディスク等情報機器(コンピュータ及びその端末装置などの周辺機器)で直接処理を行える記録媒体に記録されたものを含みます。)

【宿泊客の手荷物又は携帯品の保管】

- 第16条 1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先だって当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解した時に限って責任を持って保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当館は、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間補充し、その後最寄りの警察に届けます。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、前条第2項の規定に準じるものとします。ただし第1項の郵送物お預かり時の扱いについては、フロント預かり物と同様に保管致します。

【駐車場の責任】

- 第17条 1. 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は 場所をお貸するものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当館の故意または過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

【宿泊者の責任】

- 第18条 1. 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。
2. 宿泊客は、宿泊契約に基づく宿泊サービスを円滑に受領するため、万が一宿泊契約の内容と異なる宿泊サービスが提供されたとき、すみやかに当館において、その申し出を申し出なければなりません。
3. 当館と宿泊客との間の宿泊契約に関する紛争は、日本法を準拠法とし、当館の所在地を管轄する地方裁判所または簡易裁判所をもって専属管轄裁判所とします。

■別表第1 宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第12条第1項関係)

支 払 っ け べ き 総 額	内 訳	
	宿泊料金	① 基本宿泊料(室料(および室料+朝食の飲食料)) ② サービス料(①に関わるもの)
	追加料金	③ 追加飲食(①に含まれるものを除く) ④ サービス料(③に関わるもの)
税金		
イ)消費税 ロ)入湯税(温泉地のみ)		

■別表第2

契約解除の通知を受けた日	不 泊	当 日	前 日	2～7日前	8～14日前	15～30日前	31～60日前
契約申込人数	10名まで	100%	100%	50%	30%	10%	
	11～50名まで	100%	100%	50%	40%	30%	10%
	51名以上	100%	100%	100%	50%	30%	20%

1. ①は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。
3. 団体客(11名以上)の一部について契約の解除があった場合、解約人数に応じて上記違約金を収受致します。

付則 第1条 当館は 平成29年4月1日 国土交通省の公示するモデル宿泊約款と同一の約款を当館宿泊約款と定め、同日施行する。

第2条 当館は、平成29年4月1日、宿泊約款

第2条 1-2、同条 1-3 第3条 1-2、第9条 1-2、第15条 3項、第18条 1-2、同条2項を各新設し、さらに第5条1項、第6条 2項、第7条 1項、第9条 1項、同条 2項の各一部を改正し、同日施行する。

General Terms and Conditions for the Accommodation Contract

Article 1. (Scope of Application)

Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided herein shall be governed by laws and regulations and /or generally accepted practices.

Article 2. (Application for Accommodation Contract)

- A guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - Name of the Guest (s)
 - Date of the accommodation and estimated time of arrival
 - Accommodation Charges (based in principle on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table. No. 1; and
 - Other particulars (address, phone number, contact information etc.) deemed necessary by the Hotel
 - Request for Accommodation reservations may be subject to confirmation by the Hotel before the Guest checks in.
- If Guests request to extend their stay, during their stay, beyond the date in subparagraph (1) in the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Article 3. (Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

- A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
- When the Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit set by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay by the date specified by the Hotel.
- The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charge to be paid by the Guest, secondly for cancellation charges under Article 6 and thirdly for reparations under Article 18 as applicable. The remainder, if any, shall be refunded at the time of payment for accommodation as stated in Article 12.
- If the Guest fails to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of Payment of the deposit is specified.

Article 4. (Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

- Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
- In the case when the Hotel has not requested payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as though the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Article 5. (Refusal of Accommodation Contracts)

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances:

- (1)When the application for accommodation does not conform to the provisions of these Terms and Conditions;
- (2)When the Hotel is fully booked and there is no vacancy;
- (3)When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself/herself in a manner that will violate laws of act against the public order of good morals in regard to his/her accommodation;
- (4)When the Guest seeking accommodation can be clearly identified as carrying an infectious disease;
- (5)When the Hotel and/or hotel staff are violently threatened or unreasonably burdened by the Guest;
- (6)When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of facilities and/or other unavoidable causes;
- (7)When the person requesting Hotel accommodation is obviously intoxicated and could cause annoyance to other guests or when the person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests (when the provisions of the Article 10 of The Hokkaido Prefectural Accommodation Ordinance are applicable);
- (8)When the person requesting Hotel accommodation is a member of an organized crime group, under Article 2-6 of Law on Preventing Unreasonable Conduct by Organized Crime Groups (Code 77 issued in 1991), or a related party, under Article 2-2 of said law.

Article 6. (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

- The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.
- If the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of payment of cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
- If the Guest does not appear by 8:00 p.m. of the accommodation date without advance notice, (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified), the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Article 7. (Right to Cancel Accommodation Contract by the Hotel)

- The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances:
 - (1)When the Guest is deemed liable for conduct and/or has conducted himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order and good morals in regard to his/her accommodation.
 - (2)When the Guest can be clearly identified as carrying an infectious disease;
 - (3)When the Hotel and/or staff suffers from violent threat or unreasonable burden from the Guest. Or, when it is acknowledged that similar activity has occurred in the past;
 - (4)When the hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
 - (5)When the person requesting Hotel accommodation is obviously intoxicated and could cause annoyance to other guests or when a person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests (when the provisions of Article 10 of The Hokkaido Prefectural Accommodation Ordinance are applicable);
 - (6)When the person requesting Hotel accommodation is a member of an organized crime group, under Article 2-6 of Law on Preventing Unreasonable Conduct by Organized Crime Groups (Code 77 issued in 1991), or a related party under Article 2-2 of said law; or
 - (7)When the Guest does not observe prohibitions such as smoking in bed, tampering with fire-fighting facilities and otherwise breaches Hotel Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid causing fires).
- If the Hotel as canceled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not charge the Guest for any of he services during the contractual period he/she has not received.

Article 8. (Registration)

- The Guest shall register the following particulars with the Front Desk of the Hotel on the day of accommodation:
 - (1)Name, age, sex, address, and occupation of the Guest (s)
 - (2)All Guests off or egnationality who do not reside in Japan will be asked to give their passport number, port and date of entry in Japan;
 - (3)Date and estimated time of departure;and
 - (4)Other part icularsdeemed necessary by the hotel.
- In the case where the Guest intends to pay his/her accommodation charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's check coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Article 9. (Occupancy Hours of Guest Rooms)

- The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00p.m. on the day of arrival to 10:00a.m. on the day of departure. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy the guest room all day, except for the days of arrival and departure.
- The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the guest room beyond the time prescribed in the same Paragraph, in this case, extra charges shall apply 20% of the room charge for one extra hour in the room and
- More than one hour will incur 70% of the room charge.

Article 10. (Observance of Hotel Regulations)

The Guest shall observe the Hotel Regulations established by the Hotel. Hotel Regulations are posted within the premises of the Hotel.

Article 11. (Business Hours)

1. The business hours of the hotel main facilities are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in various places, the Service Directory in guest rooms and other means.

(1) Restaurant Ootokoe	Lunch Viking Dinner Viking	11:30-14:00 18:00-21:00
(2) Day Trip Bath	weekdays & holiday weekends	14:00-22:00 12:00-22:00
(3) Spa & Treatment [Faura]		15:30-23:00
(4) Massage corner [Hoshi no Ne]		15:30-23:00
(5) Ootokoe Market [KITA no SUBARU]		8:00-11:00 / 15:00-21:30 (Lunch buffet business days 7:30-21:30)
(6) Ramen Noodle Corner		21:00-24:00
(7) Lounge [Jomon]		20:30-23:30
(8) Ootokoe Foot Bath		15:00-24:00
(9) Tsunaga Adventure Base [SIRI]		8:00-11:00 / 15:00-21:00

***The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable circumstances of the Hotel. In such cases, the Guest shall be informed by appropriate means such as notification on the homepage.

Article 12. (Payment of Accommodation Charges)

- The explanation of accommodation charges etc. that the Guest shall pay is listed in the attached Table 1.
- Accommodation charges etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid at the Front Desk at the time of the Guest's departure or upon request by the Hotel in Japanese currency. Other means acceptable to the Hotel are traveler's checks, coupons, and credit cards.
- Accommodation charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him/her by the Hotel.

Article 13. (Liabilities of the Hotel)

- The Hotel shall compensate the Guest for damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
- The Hotel is covered by Hotel Liability Insurance to deal with unexpected fire and/or other disasters.

Article 14. (Handling when Unable to Provide Contracted Rooms)

- The Hotel shall when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
- When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel will not compensate the Guest.

Article 15. (Handling of Deposited Articles)

- The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage, or other damage is caused to goods, cash or valuables deposited at the Front Desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest for an appraisal of the value and the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 150,000 yen.
- The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage or other damage is caused through intent or negligence on the part of the Hotel to the goods, cash or valuables brought onto the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the Front Desk up to a maximum of 150,000 yen.
- However, the following articles will not be compensated for as in the above Paragraph 1 and 2
 - (1)Manuscripts, building plans, drawings, texts, and other articles of similar nature, and computer software; such as optical discs, CD-ROMs (for example, peripheral equipment processed directly into the computer and terminal equipment, including files recorded in the recording media).

Article 16. (Custody of Baggage and/or Belongings of Guest)

- When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to store it only in the case when such a request has been accepted from the hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the Front Desk at the time of his/her check-in.
- When the baggage or belongings of the Guest are found after checkout and ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no such instructions are given to the Hotel by the owner or when ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
- The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and the provisions of Paragraph 2 of the same Article 15 in the case of Paragraph 2.

Article 17. (Liability in Regard to Parking)

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for damage caused through intent or negligence on the part of the Hotel in regards to the management of the parking lot.

Article 18. (Liability of the Guest)

- (1)The guest shall compensate the Hotel for damage caused through intent or negligence on part of the Guest.
- (2)In the case of having to provide a different accommodation for the Guest, in order to smoothly facilitate the services for the Guest of the Hotel based on the Hotel Accommodation Contract, service must be offered and carried out as soon as possible by the Hotel.
- (3)Litigation arising from the Terms and Conditions for Accommodation contract will be resolved in the courts in the jurisdiction of the Hotel and in accordance with Japanese law.

*** Attached Table. No. 1 Calculation Method for Accommodation Charges
(Ref, Paragraph 1 of Article2, Paragraph 2 of Article 3 and Paragraph 1 of Article 12)

		CONTENTS
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	1. Basic Accommodation Charge(room charge including breakfast) 2. Service Charge(related to 1)
	Extra Charges	3. Extra meals and drinks(excluding what is included in 1) 4. Service Charge(related to 3)
	Taxes	a. Consumption tax b. Hot springs tax(only for locations with Hot Springs)

*** Attached Table.No.2

Date when cancellation of contract is notified	No Show	Accommodation Day	1 Days Prior	2-7 Days Prior	8-14 Days Prior	15-30 Days Prior	31-60 Days Prior
Contracted	1 to 10	100%	100%	50%	30%	10%	
Number of	11 to 50	100%	100%	50%	40%	30%	10%
Guests	51 or more	100%	100%	100%	50%	30%	20%
							10%

*REMARKS

- The percentage signifies the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
- When the number of days contracted is shortend, a cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest, regardless of the number of days shortened.
- If part of a group (11 members or more) cancels, the cancellation charge displayed above will be charged for each guest who cancels.

Article 1 — April 1, 2017, The Hotel Terms and Conditions of Accommodation are the same terms and conditions model which are determined Under The Ministry of Land, Infrastructure, and Transport.

Article 2 — April 1, 2017, newly established Terms and Conditions of Accommodation for The Hotel.
Article 2 Section 3; same article Section 4, Article 15 Section 3, Article 18 Section 2, same article Section 2; as well as, Article 2 Section 2, Article 3 Section 2, Article 5 Section 1-1, Article 6 Section 2, Article 7 Section 1-1, Article 9 Section 1; same article Section 2, Article 11 Section 2, Article 15 Section 1;same article Section 2, Article 16 Section 3